

# 【葛飾区単独】 带状疱疹予防接種費用助成のお知らせ

このお知らせをよくお読みになり、予防接種予診票をご記入の上、医師の診察を受けてください。

## 1 助成開始日

令和5年10月1日から

※助成開始日より前に接種した費用は全額自己負担です。払い戻しありません。

## 2 対象者

葛飾区内に住民登録のある、接種日現在満50歳以上の方が対象です。

ただし、既に葛飾区の带状疱疹予防接種費用助成事業を利用して接種した方を除きます。

## 3 助成の回数と金額について

生ワクチン・不活化ワクチンのどちらか一方のみを助成します。

種類	助成回数	助成金額	自己負担額
生ワクチン	1回のみ	1回 4,000円	助成金額を差引いた費用を医療機関にお支払いください。
不活化ワクチン	2回まで	1回 10,000円	

## 4 带状疱疹の症状について

带状疱疹は、体内に潜伏している水ぼうそうウイルスによって引き起こされる病気であり、発症すると、水ぶくれを伴う発疹（水疱）が、皮膚に分布している神経に沿って帯状に出現する疾患です。水疱が見られる2～3日前から痒みや痛みを感じるようになり、1週間程度たつと水疱の多発や発熱、頭痛といった症状がみられることもあります。

## 5 予防接種を受ける際の注意

### (1) 予防接種を受けることができない方

- ① 明らかに発熱（通常37.5℃以上）がある方
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかである方
- ③ 過去に水痘・带状疱疹ワクチンの成分によって、アナフィラキシー（接種後約30分以内に起こる呼吸困難などのひどいアレルギー反応）を起こしたことがある方
- ④ 【生ワクチン接種希望者】妊娠している、または妊娠している可能性がある方
- ⑤ 【生ワクチン接種希望者】先天および後天性免疫不全状態、または免疫抑制状態の方
- ⑥ その他、医師が不適当な状態と判断した方

### (2) 予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない方

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患がある方
- ② 予防接種後2日以内に発熱したことがある方、または全身性発疹などのアレルギーを疑う症状になったことがある方

※裏面へ続きます

- ③ 水痘・带状疱疹ワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれがある方
- ④ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑤ 過去に免疫不全の診断を受けている方、及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑥ 【不活化ワクチン接種希望者】血小板が少ない方、または出血しやすい方
- ⑦ 【不活化ワクチン接種希望者】授乳中の方、妊娠している、または妊娠している可能性がある方
- ⑧ 最近1か月以内に予防接種を受けた方

## 6 予防接種後の注意

- (1) 接種後に急な副反応が起こることがありますので、接種後30分程度は接種を実施した病院にいるなどして体調の変化を観察し、医師とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- (2) 生ワクチンは4週間、不活化ワクチンは1週間、副反応の出現に注意しましょう。
- (3) 接種後、数日以内に高熱やひどい腫れ、けいれんがあった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。
- (4) 当日の入浴は可能ですが、注射部位を擦ることはやめましょう。
- (5) 当日は注射部位を清潔に保ち、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- (6) 【生ワクチン接種希望者】女性の方は、接種後2か月間は避妊が必要です。
- (7) 【不活化ワクチン接種希望者】1回目接種から2か月あけて（遅くとも6か月後までに）2回目の接種が必要です。1回目の予診票を保管し、忘れず接種しましょう。

### ◀不活化ワクチンの接種間隔について▶

接種間隔は日数ではなく、月の同日で考えます。

(例) 10月4日に1回目の接種をした場合：2回目は12月4日～4月4日までに接種する。

## 7 予防接種後の副反応

副反応には、注射部位の赤みや痛み、倦怠感などがあります。通常、数日以内で治ります。万が一、高熱やひどい腫れ、けいれんなどの症状があった場合は、医師の診察を受けましょう。

## 8 健康被害救済制度

予防接種によって、入院を必要とする程度の疾病や、日常生活が著しく制限されるほどの障害などの健康被害が生じた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく「医薬品副作用被害救済制度」及び「葛飾区予防接種災害補償要綱」に基づく救済の適用となります。

【問い合わせ先】葛飾区健康部（保健所）保健予防課 感染症対策係 TEL 03-3602-1238